

論語 予習プリント ①

○ 次の訓読文に、読む順番を数字で書き入れよう。

(例) (1 2 3 × 4 6 5 、 9 7 8 10)

子曰、^{ハク}「^{ビテ}学^ニ而^ニ時^ニ習^フ之^ヲ、不^ズ亦^{また}説^{ハシ}カラ^一乎^や。

(6 1 4 2 3 5 、 9 7 8 10)

有^リ下^下朋^ニ自^リ遠^ニ方^一来^{タル}上^上、不^ズ亦^{また}樂^シカラ^一乎^や。

(1 3 2 × 5 4 、 9 6 7 8 10)

人^{不^ズシテ}知^ラ而^{不^ズシ}慍^ミ、不^ズ亦^{また}君^ナ子^ナ乎^や。

(1 2 4 3 × 6 5 、 10 7 9 8 ×)

子曰、^{ハク}「^{メテ}温^シ故^キ而^{知^レバ}新^シキヲ、可^シト以^テ為^ル師^矣。

(1 2 3 × 5 4 6 7 。 1 × 3 2 4 5)

子曰、^{ハク}「^{ビテ}学^ニ而^{不^ズシ}思^ハチ罔^シ思^ヒテ而^{不^ズシ}学^バ則^チ殆^シ。

(1 2 4 3 5 、 10 9 7 6 8)

子曰、^{ハク}「^ル知^シ之^ヲ者、不^ズ如^カ二^二好^ム之^ヲ者^ニ。

(2 1 3 、 8 7 5 4 6)

好^ム之^ヲ者、不^ズ如^カ二^二樂^シ之^ヲ者^ニ。

論語 予習プリント ②

4/23

○ 次の訓読文を書き下し文にしましょう。

子曰はく、「**学びて時にこれを習ふ、また説ばしからずや。**」

子曰、ハク、「学而ヒテ時ニ習フ之ヲ、不ズ亦また説バシカラ一ヤ乎。

朋遠方より来たるあり、また樂しからずや。

有リ朋ニ自より遠方一来タル、不ズ亦また樂シカラ一ヤ乎。

人知らずして慍みず、また君子ならずや。」と。

人不知シテ而不慍ミ、不ズ亦また君ナラ一乎。

子曰はく、「故きを温めて新しきを知れば、以て師たるべし。」と。

子曰、ハク、「温メテ故而知レバ新シキヲ、可シト以テ為タル師矣。」

子曰はく、「学びて思はざれば則ち罔し。思ひて学ばざれば則ち殆し。」と。

子曰、ハク、「学而不思ハ則チ罔シ。思ヒテ而不学ハ則チ殆シト。」

子曰はく、「これを知る者は、これを好む者にしかず。」

子曰、ハク、「知ルヲ者、不ズ如シカ好ム之ヲ者ニ一

これを好む者は、これを楽しむ者にしかず。」と。

好ム之ヲ者、不ズ如シカ樂シム之ヲ者ニ一

☆教科書33～34ページで正しい書き方を確認しておこう。